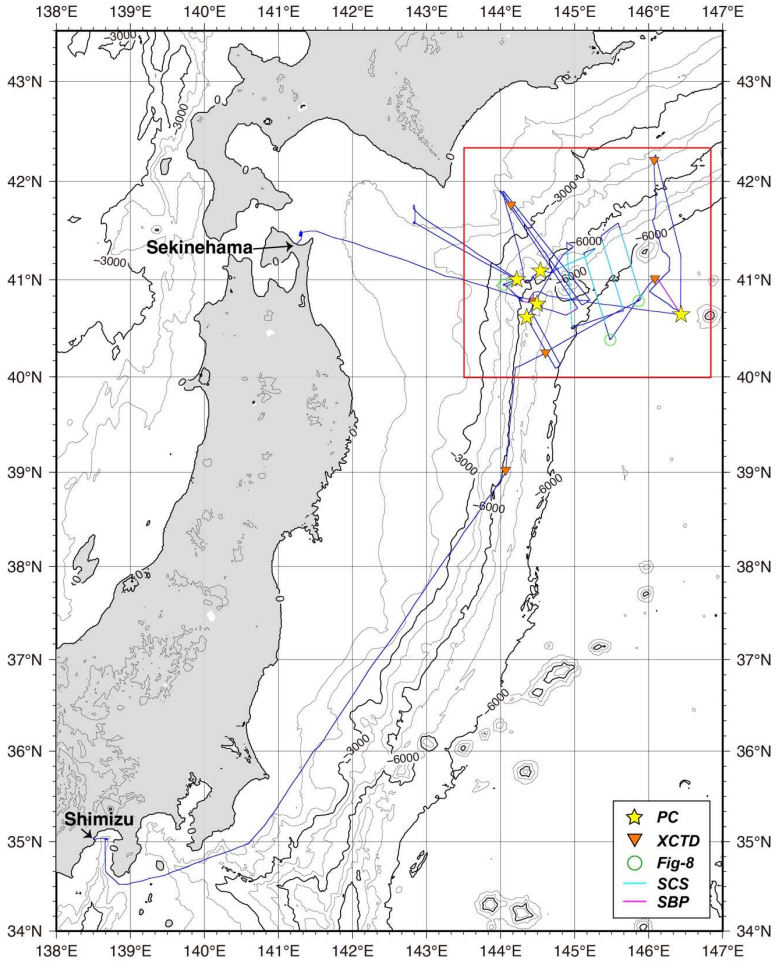
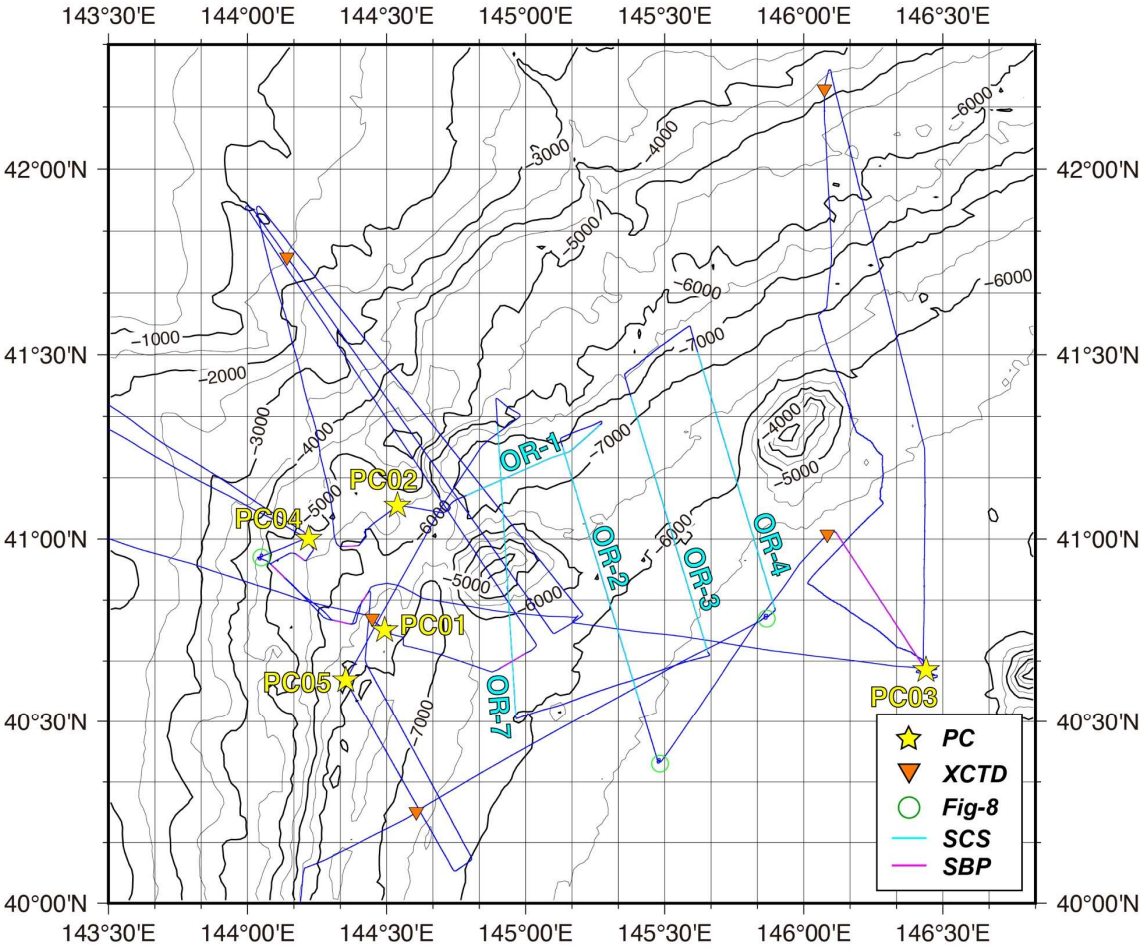
クルーズサマリー

1. 航海情報

- 航海番号: MR24-02
- 船舶名:「みらい」
- 航海名 1: 千島海溝における巨大地震・津波発生源の地震履歴研究
- 航海名 2: 千島海溝アウターライズ周辺海域におけるコンターライト堆積プロセスの解明
- 首席研究者 [所属機関名]: 富士原 敏也 [海洋研究開発機構 海域地震火山部門]
- 課題代表研究者 1 [所属機関名]: 金松 敏也 [海洋研究開発機構 海域地震火山部門]
- 課題代表研究者 2 [所属機関名]: 池田 尚史 [山口大学大学院 創成科学研究科]
- 航海期間: 2024 年 3 月 12 日～2024 年 3 月 28 日
- 出港地～寄港地～帰港地: 関根浜～清水
- 調査海域名: 千島海溝
- 調査マップ:



航海海域の測線・測点。濃い青の実線は「みらい」の航跡を示す。PC: ピストンコア、Fig-8: 「8 の字」航走、SCS: シングルチャンネル反射法調査、SBP: サブボトムプロファイラ調査。



調査海域の測線・測点。濃い青の実線は「みらい」の航跡を示す。PC: ピストンコア、Fig-8:「8 の字」航走、SCS: シングルチャンネル反射法調査、SBP: サブボトムプロファイラ調査。

2. 実施内容

－**目的・背景**: 地質学的調査研究から千島海溝沿いの地震発生履歴を把握することを目的とし、海溝陸側斜面で地震性タービダイトを含む海底堆積物柱状試料を採取する。また、採泥点周辺の海底地形、堆積層の底質、堆積層序・構造を調査する。また、千島海溝の海側斜面アウターライズで、コンターライトと考えられる海底堆積物柱状試料を採取し、堆積構造・過程を調査する。

－**実施項目・手法・観測機器**: ピストンコアリング採泥、サブボトムプロファイラ調査、シングルチャンネル反射法調査、マルチビーム音響測深、XCTD 計測、船上重力計計測、曳航式・船上 3 成分磁力計計測、表層海水採水

－**観測結果・実施結果**:

・ 5 地点において採泥を行った。採泥点の水深は 5171～7040m、ピストンコアのパイプ長は 6m である。

・ 5 測線において、355 cu in (G: 250, I: 105) ×2 の GI ガンを発振源として、シングルチャンネル反

射法調査を行った。

- 10 地点とシングルチャンネル反射法調査測線においてサブボトムプロファイラ調査を行った。採泥点はこの調査結果により選定した。
- 調査海域においてマルチビーム音響測深を行った。
- 調査海域 6 点において XCTD 計測を行った。
- セシウム磁力計による曳航式地磁気調査をマルチビーム音響測深調査と並行して行った。
- 航海中連続して船上重力計計測、船上 3 成分磁力計計測を行った。船上 3 成分磁力計データのキャリブレーションのための「8 の字」航走を 3 地点で行った。
- 航海中 72 地点で採水を行った。